

みんなで育て、楽しみ、交流の場となる玉浦西地区の緑 ～緑の育て方についてワークショップを行いました～

2014年7月20日、岩沼市仮設住宅東集会所で行われた復興まちづくりワークショップにおいて、玉浦西地区の緑について話し合いが行われました。

まず、西公園に計画されている薬草園について、公益社団法人日本植物園協会専務理事の飯塚さんより、薬草の管理の方法に関する説明がなされた後、(社)宮城県薬剤師会薬事情報センターの我妻さんより、西公園の薬草について、日本薬用植物友の会が支援くださることを表明していただきました。

つぎに、玉浦西地区の外周部分の緑化について話し合いが行われました。これまでのワークショップで住民の方々が話し合われてきました内容の緑化プラン図を住民の皆様にご確認いただきました。このプランを元に、緑化助成金の公募である、『緑の環境デザイン賞』へ応募することを確認いたしました。

最後に、西公園と中公園の広場の芝生化について話し合いが行われました。それぞれの公園には約1000㎡の芝生化が可能な面積があります。これまでの話し合いで、皆さんで協力して芝生を育てていくことになっています。今回のワークショップでは、芝の一種であるティフトンの管理方法（芝刈りや水やりの頻度、管理の費用）について、NPO法人グリーンスポーツ鳥取理事の中野さんよりご説明がなされました。それを受けて、ティフトンの植栽実験を西公園で行うことになりました。盛夏に向かうため、実験は無理せず、ゆっくりと実施することになりました。公園の芝生化に向けての第一歩が始まりました。



写真：飯塚さんの薬草についてのご説明の様子



写真：中野さんのティフトンの管理方法のご説明の様子



写真：芝生化についての話し合いの様子



図：玉浦西地区の外周部分の緑化プラン図